

## ○ 八幡平市地域医療計画中間評価

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
1 住民参加の地域医療づくり				
(1) 医療サービスの向上（計画書P17）				
1	○住民が各医療機関の診療内容や対応できる傷病を周知し、スムーズな受診ができるよう理解を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページに、西根病院、安代診療所、田山診療所の診療科目、診療日、受付時間等について掲載している。</li> <li>・平成26年11月発行の「八幡平市暮らしのガイドブック」に西根病院、安代診療所、田山診療所の診療科目、診療日、受付時間等について掲載している。</li> <li>・「はちまんたい子育て支援ガイドブック」に市内医療機関すべての診療科目、所在地、電話番号を掲載。市ホームページにも掲載している。</li> <li>・「八幡平市子育て支援マップ」に市内医療機関すべての所在地、電話番号、位置（地図上）を掲載。市ホームページにも掲載している。</li> </ul>	<p>引き続き、市ホームページ等を利用し診療科目等について周知し、市民が受診しやすいよう努める。</p> <p>「八幡平市暮らしのガイドブック」は、平成31年度に作成（市企画財政課）、配布を予定している。また、「はちまんたい子育て支援ガイドブック」は毎年度作成（市地域福祉課）し、母子手帳交付時に配付（健康福祉課）している。</p>	健康推進係
2	○市と医療機関の連携のもと、休日・夜間の医療体制や相談体制の充実等、切れ目のない安心安全な医療提供体制の構築に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の医療機関と連携し、輪番制で休日救急当番医制を実施している。</li> <li>・小児救急入院受入当番病院については、盛岡地区市町で二次救急の輪番制小児医療機関と連携して実施している。</li> <li>・周知については、市広報誌に市内及び鹿角市の休日当番医、休日当番薬局について掲載している。</li> </ul>	引き続き、市内及び盛岡地区の関係医療機関等と連携を取りながら、休日及び夜間でも市民が安心して医療を受けることができる体制を構築していく。当番医等については、市広報誌で分かりやすくお知らせしていく。	健康推進係
3	○本市は盛岡二次保健医療圏に属することから、医療圏域における医療資源の活用と、県及び県央保健所の支援を求めながら、医療提供体制の構築に取り組みます。	本市は、岩手県保健医療計画の中で、盛岡二次保健医療圏内で入院医療を中心とする一般の医療需要に対応していくものと設定されており、その中で切れ目のない医療提供体制を維持するよう連携、調整に努めている。	「岩手県保健医療計画（2018－2023）」が平成30年4月に策定されており、それに沿って取り組んでいく。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(2) 医療情報提供と住民の役割（計画書P17～18）				
1	○市からの情報発信に加え、患者のニーズに対応する総合相談窓口体制の整備、健康づくり推進団体等を活用し、医療情報や健康づくり情報の提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休祭日の当番医、当番薬局については、市広報誌や市ホームページに掲載し、情報の提供を行った。</li> <li>・患者の相談については、医療機関で対応できる体制になっていると捉えている。</li> </ul>	引き続き、休祭日の当番医、当番薬局について市広報誌や市ホームページに掲載し、休祭日でも安心して医療を受けることができるよう周知する。	健康推進係
2	○地域医療を支えるために、県の啓発活動等と連動した取り組みを進めるとともに、市全体で継続した啓発活動を推進します。	・平成20年度から「県民みんなで支えるいわての地域医療推進運動」が進められており、当市でも当該運動の主旨に則した取り組みを行い、意識向上と啓発に努めている。	県の動向に合わせて、連動した取り組みを行っていく。	健康推進係
3	○市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という基本のもとに健康づくりに取り組む姿勢の普及が大切であることから、地域の健康づくりサポーターの役割や活動内容を再点検し、組織強化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年3月に「八幡平市健康づくり21プラン（第3次）」を策定し、関係者へ計画書を配付した。また、健康増進計画、食育推進計画、自殺対策計画を合わせた概要版を作成し、全戸配布を行い、計画の内容について周知を図るとともに、意識の向上を図った。</li> <li>・策定にあたり、地域の健康づくりサポーターの代表者や関係者を交えた会議を開催し、役割や活動内容の再点検を行ってきた。</li> </ul>	市健康づくり21プラン（第3次）に沿って活動を推進し、中間評価時点（平成32年）で活動の再点検を行う。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
2 医療機関の相互の役割分担と連携				
(1) 医療機関の役割分担と連携（計画書P18）				
1	○病院と診療所の持つ役割を明確にし、それぞれの持つ特徴を十分に活かせるように、医療機関相互の協力体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、市内医療機関との連絡会（学校保健・児童福祉・地域保健事業打ち合わせ会）を毎年2月に行い、医療機関相互の協力体制の構築につなげている。</li> <li>・必要に応じ、医療機関相互の連携は図られているものと捉えている。</li> </ul>	今後も市内医療機関と市関係課との連絡会を年1回開催し、医療機関相互の協力体制の構築につなげる。	健康推進係
2	○医療機関連絡会及び地域医師会等を通じて、地域医療関係者の連携を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、市内医療機関との連絡会（学校保健・児童福祉・地域保健事業打ち合わせ会）を毎年2月に行い、歯科を含む医療機関との連携の場を設け、学校健診、児童福祉施設健診、地域保健事業について、実施状況の報告と翌年度の計画への提言をいただいている。</li> <li>・地域医師会としては、岩手西北医師会、岩手八幡平歯科医師会があり、会員の医師、歯科医師から、事業、会議等で助言等をいただいている。</li> </ul>	<p>引き続き、市内医療機関との連絡会を毎年開催し、市と医療機関、また、医療機関相互の連携を図ることとする。</p> <p>また、岩手西北医師会、岩手八幡平歯科医師会との連携も強化していく。</p>	健康推進係
3	○保健福祉連携推進協議会を拡充し、多様な専門職等を加えることにより、多岐にわたる協議と連携の強化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市保健福祉連携推進協議会を、通常は年2回、5月と11月に開催している。</li> <li>・平成26年度から委員構成を見直し、地域の病院、保健所、歯科医師会、民生委員、国保運営協議会、社会福祉協議会、学校保健会、商工会、建設協同組合、企業懇談会、老人クラブ連合会、婦人会連絡協議会、保健推進員協議会、食生活改善推進員連絡協議会の代表者を委員と定めた。市では、健康福祉課から保健師、栄養士、事務職員が出席し、各代表委員から提言をいただいている。</li> </ul>	それぞれの委員の持つ課題や情報の提供を通してそれぞれの内容を共有し、健康づくりの意識の向上を図るよう努めていく。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(2) 中核となる病院の役割（計画書P18～19）				
1	○中核を担う病院間の連携の強化と、病院機能に応じた役割分担を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西根病院では、平成29年度に西根病院改革プランを策定し、病床機能の役割分担を推進している。一般病床のほか、平成30年2月から16床、加えて、9月から20床の地域包括ケア病床を設置、8月から人工透析室を設置し、地域医療機能の強化を図っている。</li> <li>・東八幡平病院は、一般病床のほか、回復期リハビリテーション病棟に100床設置している。また、リハビリテーションに関する研修の実施、専門職員のネットワーク構築や介護事業所への支援など、地域リハビリテーション広域支援センターの機能を持つ病院として運営されている。</li> </ul>	引き続き、病院機能に応じた役割分担をしながら、病院間の連携を図っていく。	西根病院、東八幡平病院
2	○オープンベッドの検討を行うとともに、オンコールによる検査等、初期救急体制の充実を図り、市内医療機関や二次救急医療機関との連携を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンベッドについては、現在は体制ができていない状態である。</li> <li>・オンコールによる検査の体制については、西根病院では市立病院の開業に向けて検討段階である。東八幡平病院では実施している。</li> </ul>	オープンベッドについては状況を見つつ、必要性が高まれば検討を進めていく。	東八幡平病院、西根病院
3	○医療従事者の人材確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市医師養成修学資金貸付事業を実施。平成29年度からは入学一時金を900万円を新設し、併せて月額貸付金を20万円から30万円に引き上げた。現在、養成中の医学生は2名である。</li> <li>・市看護師養成修学資金貸付事業を平成26年度から実施し、月額8万円を上限に貸付。養成看護師は平成29、30年度それぞれ1人ずつ市内医療機関に勤務。現在、養成中の看護学生は6名である。</li> <li>・西根病院では「ふれあい看護体験（県看護協会主催）」や職場体験の受け入れ、東八幡平病院では「オープンホスピタル」の実施や独自の奨学金制度の実施を通して、医療従事者の確保へつなげている。</li> </ul>	<p>市では、今後も継続して貸付事業を行い、将来の八幡平市立病院の医師及び市内医療機関等の看護師の確保に努めていく。</p> <p>西根病院、東八幡平病院については、それぞれの事業を通して医療従事者の確保を行っていく。</p>	健康推進係、八幡平病院、西根病院、東

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(3) 診療所機能の拡充（計画書P19）				
1	○病院と診療所及び介護・福祉との連携による医療提供体制の向上を図ります。	・地域包括ケアシステムの中で、盛岡北部行政事務組合が主体となった在宅医療介護連携事業の実施を検討している。	地域包括ケアシステムの中で、盛岡北部行政事務組合が主体となった在宅医療介護連携事業の実施を予定している。	包括支援セン ター係
2	○開業医がやりがいをもてる環境づくりや、医師確保のためのPR方法等を検討し、開業する医師にとって魅力ある地域づくりを促進します。	・市医師養成修学資金貸付事業について、市内の中学3年生、盛岡管内の高校、県内及び近隣県の医学部のある大学にチラシを送付し、事業のPRを行っている。 ・市総合計画に基づき、地域医療の充実に努めている。	学生、学校に対するチラシ送付によるPRを、今後も行っていく。 引き続き、市全体として魅力ある地域づくりを促進していく。	健康推進係
3	○利用者が通院しやすい環境づくりのため、コミュニティバスや路線バス、JR花輪線の利用推進を図ります。	・市コミュニティバスは、路線や運行時刻について、医療機関の受診に利用しやすいよう考慮している。 ・地域内幹線交通（大更地区と田山地区を結ぶコミュニティバスの運行）を実施している。 ・JR花輪線については、毎年、JR東日本盛岡支社へ増便を要望している。	市立病院が大更駅東側に隣接して平成32年度中に開業することにより、受診のために大更駅で乗降する乗客の増加が見込まれるため、JR花輪線の増便について、さらに要望していく。 また、コミュニティバスについても市立病院の開業に合わせ、路線及び運行時刻を受診しやすいものとなるよう検討していく。	地域振興課 地域振興係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
<b>3 医療と介護の連携</b>				
医療と介護の連携（計画書P19～20）				
1	○地域包括支援センターを中心とした在宅医療・介護の連携を推進し、在宅療養者や家族のニーズに対応した在宅医療提供体制を構築します。	・地域ケア会議や医師会との合同研修会、医療機関関係者と介護支援専門員等介護関係者との研修会等を開催している。	今後も継続して連携体制の強化を進め、顔の見える関係づくりを構築していく。	包括支援センター係
2	○医療機関や地域包括支援センター、介護施設、居宅介護支援事業所等の連携により、病院退院時から円滑に移行できる在宅医療・介護供給体制に向けての検討を行います。	・市内で中核を担う病院には地域医療連携室が設置されており、退院に係る調整等を関係者と行い、スムーズに在宅医療・介護供給体制へ移行できるよう努めている。 ・地域ケア会議で「盛岡圏域入退院調整支援ガイドライン」の活用について説明し、連携の在り方についての話し合いを行っている。 ・平成30年8月から市内に訪問看護ステーションが1カ所開所し、在宅における医療、介護、リハビリサービスを行っている。	「盛岡圏域入退院調整支援ガイドライン」及び岩手西北医師会認知症地域支援ネットワーク作成の「医療・介護連携シート」を活用し、連携を図るよう引き続き関係者間で進めていく。	包括支援センター係
3	○医療・介護の関係者の知識の向上を図るとともに、在宅医療を担う専門的な人材の育成に取り組みます。	・地域ケア会議、医療介護連携研修会等、医療・介護関係者を対象とした研修会を開催し、人材の育成を図っている。	今後も継続して事業を実施し、関係者の知識の向上を図っていく。 外国人の看護・介護従事者等の受け入れについても視野に入れながら、外国人労働者の健康確保についても考慮する。	包括支援センター係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
4 疾病・事業ごとの医療体制				
(1) 5 疾病の取組と医療体制（計画書P21～27）				
① がん（悪性新生物）（計画書P21）				
1	○市民一人ひとりが、健康的な生活習慣を確立するための情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市健康づくり21プラン（第3次）を策定した。がん分野についての目標を記載した「概要版」を作成し（他分野も含む）、全戸配布した。</li> <li>・健診（検診）等に併せて、がんに係るリーフレットを配付した。</li> </ul> <p>➤策定時との比較</p> <p>胃がん（H23）21.3%➡（H29）26.2%  大腸がん（H23）28.9%➡（H29）38.3%  乳がん（H23）29.0%➡（H29）36.8%  子宮頸がん（H23）24.0%➡（H29）32.1%  肺がん（H23）30.9%➡（H29）38.3%</p> <p>➤市健康づくり21プラン目標項目「がん検診受診率の向上」</p> <p>胃がん（現状値H28）27.0%➡（目標値H35）40.0%以上  大腸がん（現状値H28）38.5%➡（目標値H35）50.0%以上  乳がん（現状値H28）38.2%➡（目標値H35）50.0%以上  子宮頸がん（現状値H28）32.8%➡（目標値H35）50.0%以上  肺がん（現状値H28）38.0%➡（目標値H35）50.0%以上</p>	引き続き、市健康づくり21プラン（第3次）の目標達成に向けて情報提供及び啓発活動を行っている。	健康推進係
2	○がん予防についての知識の普及啓発に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診（検診）等に併せて、がんに係るリーフレットを配付した。</li> <li>・がん検診手帳を送付している（子宮頸がん検診：20歳時、乳がん：40歳時、いずれも4月1日時点の年齢）。</li> </ul>	引き続き、目標の達成に向け、普及啓発に努める。 喫煙のリスクについての講演会等を実施する。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
3	○がん検診及び要精密検査の受診率向上を図るため、受診しやすい検診体制づくりに努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日だけでなく、土・日にも検診日を設けたほか、午後や夕方の時間帯にも検診日を設けた。一度にすべての受診ができるミニドック健診の実施や、婦人検診のみの日、受け忘れた方のために遅い時期（10月、11月）の検診日も設けた。</li> <li>・会場での誘導を保健推進員が行うほか、番号札を渡して待ち順が分かるようにするなど、スムーズな受診ができるよう努めた。</li> </ul>	<p>今後も、さらに受診しやすい環境づくりを検討し、受診率の向上につながるよう努める。</p>	健康推進係
4	○がん検診の効果的な周知方法等を検討し、受診率向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別通知のほか、ポスターの掲示、市広報誌、市ホームページへの掲載、広報車でのPR、保健推進員による声かけを行い、周知を図った。</li> <li>・がん検診手帳（子宮頸がん検診：20歳、乳がん検診：40歳）、健康手帳（40歳）の送付に併せて、がん検診再勧奨通知を送付している。</li> </ul>	<p>これまでの周知方法も継続して行いながら、さらに効果的な周知方法を検討していく。</p>	健康推進係
5	○働き盛りの年代が受診しやすい検診の実施に取り組み、受診率の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日だけでなく、土・日にも検診日を設けたほか、午後や夕方の時間帯にも検診日を設けた。一度にすべての受診ができるミニドック健診の実施や、婦人検診のみの日、受け忘れた方のために遅い時期（10月、11月）の検診日も設けた。</li> </ul>	<p>職場でがん検診を行っていない方が受診することもあり、土・日の検診の実施を含め、回数についても検討する（平成30年度は35会場中、土・日は8会場。ただし、うち4会場は婦人検診）。</p>	健康推進係
6	○がんの適切な治療を受けられるよう、医療の連携や情報提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要精密検査該当者の未受診を無くし、がんの早期発見、早期治療に寄与するため、勧奨通知や電話連絡を行っている。</li> <li>・地域医療連携室を中心に在宅医療介護連携を図っている。</li> </ul>	<p>今後とも、要精密検査の未受診者を無くするよう個別に働きかけていく。</p> <p>地域医療連携室を中心に在宅医療介護連携を推進していく。</p>	健康推進係



	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、 係等
7	○がんを治療しながら在宅生活を良好に維持するため、医療と福祉の連携体制の構築に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西根病院及び東八幡平病院では地域医療連携室を設置し、入退院調整のほか退院後の在宅医療、在宅介護の調整業務を行っている。</li> <li>・市内では2カ所（東八幡平病院、西根病院）で訪問看護を行っている。</li> </ul>	引き続き、連携しながら体制を強化していけるよう努める。	包 括 支 援 セ ン タ ー 係
8	○終末期（在宅）の医療体制について、かかりつけ医等が訪問看護ステーション等と連携し、患者及び家族が安心して医療を受けられる支援体制の構築を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西根病院及び東八幡平病院で訪問看護を行っている。</li> </ul>	引き続き、連携しながら体制を強化していけるよう努める。	包 括 支 援 セ ン タ ー 係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
② 脳卒中（計画書P22）				
1	○高血圧などの危険因子に関する知識の普及と、栄養改善事業や食生活改善推進員活動への支援に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員連絡協議会と共催で「適塩教室（子ども食育教室）」を開催している。</li> <li>・市民健康講座や健診結果説明会で「減塩みそ汁」「減塩料理」の試食の実施と、各自持参したみそ汁の塩分測定を実施している。</li> <li>・脳ドック受診助成事業により2万円を上限として助成している（対象年齢：40～60歳の5歳刻み。1人1回限り）。</li> </ul>	引き続き、市の事業の実施と食生活改善推進員連絡協議会との共催事業を行い、高血圧の危険因子に関する知識の普及啓発活動に取り組む。	健康推進係
2	○特定健康診査の受診率向上と特定保健指導の実施、要精密検査者の受診勧奨に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の実施日程、内容について分かりやすくチラシ等を作成し、受診票と一緒に送付した。また、保健推進員による受診勧奨、健診お知らせポスターの掲示（市内スーパー等90カ所）、市広報誌へのお知らせの掲載など健診のPR、未受診者へのハガキによる受診勧奨を行ったほか、健診後、要精密検査該当者への受診勧奨を電話、訪問等により実施した。</li> <li>・特定保健指導（3・3スクール）実施を年4回程度実施した。</li> <li>➤策定時との比較               <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査の受診率（H23）35.0%➡（H29）34.6%</li> <li>特定保健指導の実施率（H23）14.9%➡（H28）6.2%</li> <li>脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）（H23）49.9➡（H28）42.4</li> </ul> </li> <li>➤市健康づくり21プラン目標項目               <ul style="list-style-type: none"> <li>「特定健康診査受診率の向上」（現状値H28）35.8%➡（目標値H35）50.0%</li> <li>「特定保健指導実施率の向上」（現状値H28）6.2%➡（目標値H35）20.0%</li> <li>「脳血管疾患の年齢調整死亡率の低下」（現状値H27）男性63.8、女性36.5➡（目標値H35）男性59.0、女性34.0</li> </ul> </li> </ul>	引き続き、受診率の向上に向けて周知・啓発を図っていくとともに、特定保健指導の実施、要精密検査未受診者への受診勧奨を行う。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
3	○急性期・回復期・維持期（慢性期）の切れ目ない治療とリハビリテーションの提供や、医療・介護・福祉の関係者が連携した包括ケア支援体制の構築に取り組みます。	・会議・研修会等を通して、「盛岡圏域入退院調整支援ガイドライン」を活用して連携していくことの共通認識を図っている。	切れ目なく医療・介護サービスが受けられるよう、継続して医療・介護連携を推進し、関係者間の顔の見える関係づくりに努める。	包括支援センター
4	○在宅復帰・社会参加を目指した支援体制の構築に取り組みます。	・医療介護の連携により、入院前後及び退院前後の情報共有等を行っている。 ・東八幡平病院では、回復期リハビリテーション病棟を平成29年8月に100床に増床するとともに、リハビリスタッフを増員して急性期からの患者の受入と在宅復帰に向けた支援にあたっている。	継続して医療・介護連携を推進する。	包括支援センター

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
③ 急性心筋梗塞（計画書P23）				
1	○予防や正しい知識の普及と健康的な生活習慣の啓発に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員連絡協議会と共催で「適塩教室（子ども食育教室）」を開催した。</li> <li>・市民健康講座や健診結果説明会で「減塩みそ汁」「減塩料理」の試食の実施と、各自持参したみそ汁の塩分測定を実施した。</li> <li>➤策定時との比較 急性心筋梗塞（心疾患）の年齢調整死亡率（人口10万対）（H23）74.9➡（H28）58.6</li> <li>➤市健康づくり21プラン目標項目 「心疾患の年齢調整死亡率の低下」（現状値H27）男性93.9、女性42.6➡（目標値H35）男性74.4、女性38.5</li> </ul>	引き続き、食生活改善推進員連絡協議会等と共に事業を行い、正しい知識の普及と健康的な生活習慣の啓発に取り組む。	健康推進係
2	○AED設置の普及に取り組みます。	・平成30年9月28日現在、市内のAED設置は73カ所である（日本救急医療財団全国AEDマップより）。	AED設置の重要性について広く周知するよう努める。	健康推進係
3	○急性期の速やかな搬送と二次救急医療機関との連携を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成32年度中に開業する市立病院にドクターヘリ用のヘリポートを設置する予定で建設を進めている。</li> <li>・ドクターヘリの年間出動回数は、平成29年度に県全体では399件、本市では41件だった。</li> <li>・本市の救急車の年間出動件数は、平成22～25年度で平均1,182件、平成26～29年度で平均1,239件（4.8%増）だった。</li> <li>・二次救急医療機関について、盛岡保健医療圏内8市町で経費を分担し、盛岡地区二次救急医療補助事業を実施し、維持している。</li> </ul>	関係機関と連携を取りながら進めていく。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
④ 糖尿病（計画書P24）				
1	<p>○食生活や運動習慣などの生活習慣の改善、肥満の防止などによる糖尿病の予防に関する啓発活動に取り組むとともに特定健康診査の受診率向上に努めます。</p>	<p>・特定健診の実施日程、内容について分かりやすくチラシ等を作成し、受診票と一緒に送付した。また、保健推進員による受診勧奨、健診お知らせポスターの掲示（市内スーパー等90カ所）、市広報誌へのお知らせの掲載など健診のPR、未受診者へのハガキによる受診勧奨を行ったほか、健診後、要精密検査該当者への受診勧奨を電話、訪問等により実施した。</p> <p>・糖尿病予防教室を年2回程度、市民健康講座を年2回程度行い、広く市民に知識の普及と啓発を行った。</p> <p>・糖尿病性腎症重症化予防事業として、糖尿病患者の人工透析への移行を防ぐため、医師と連携して保健指導を実施した。また、治療中断者、特定健診異常値放置者に対して、受診勧奨を行った。</p> <p>➤策定時との比較          特定健康診査受診率（H23）35.0% ➡（H29）34.6%          糖尿病の年齢調整死亡率（人口10万対）（H23）21.2 ➡（H28）27.1</p> <p>➤市健康づくり21プラン目標項目          「特定健康診査受診率の向上」（現状値H28）35.8% ➡（目標値H35）50.0%          「糖尿病有病者の増加の抑制」（現状値H29）313人 ➡（目標値H35）10.0%以上減少</p>	<p>特定健診の受診率向上については、市民課と健康福祉課とが連携し、受診勧奨を工夫しながら取り組んでいく。</p> <p>生活習慣の改善、糖尿病の予防については、関係機関と協力して事業を実施し、啓発活動を行っていく。</p>	健康推進係、市民課国保年金係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、 係等
2	○糖尿病に関する正しい知識の普及啓発を図り、特定保健指導の徹底と要精密検査者の受診勧奨に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防教室を年2回程度実施した。</li> <li>・要精密検査者への受診勧奨を、電話・訪問等により随時実施した。</li> </ul> ▶市健康づくり21プラン目標項目 「特定保健指導実施率の向上」（現状値H28）6.2%→（目標値H35）20.0%	生活習慣の改善、糖尿病の予防については、関係機関と協力して事業を実施し、啓発活動を行っていく。 特定保健指導については、正しい生活習慣の知識を持つ市民を増やすため、周知や勧奨を工夫し実施率の向上に努める。	健康推進係
3	○かかりつけ医と慢性合併症治療実施医療機関等との情報共有と連携を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西根病院では、応援医師により毎週火曜日に糖尿病外来を実施している。平成30年8月に人工透析室を設置した。患者に応じて他医療機関と随時情報共有を行っている。</li> </ul>	勉強会等を通じて、今後も連携強化を図っていく。	西根病院

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
⑤ 精神疾患（こころの健康づくり）（計画書P25）				
1	○精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を図り、気軽に参加できる研修会の開催等、心の健康づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民健康講座での講話を年2回程度実施した。</li> <li>・自殺予防週間（9月中旬）に合わせ、自殺予防啓発キャンペーンを実施し、市内スーパー等4か所で啓発グッズ等を配布した。</li> <li>・平成29年度から市まちづくり出前講座のメニューにゲートキーパー養成講座のメニュー（いのちの門番「ゲートキーパー」ミニ講座）を追加した。</li> <li>・ゲートキーパー養成研修を年2回程度開催した。</li> <li>・うつスクリーニングを実施（40、45、50、55、60、64歳及び妊婦）し、2次スクリーニング該当者へ訪問を行い、必要に応じ治療や支援につなげている。</li> </ul>	企業、団体等にも研修を行うなど、こころの健康づくりやゲートキーパーについての知識の普及啓発に努める。	健康推進係
2	○相談・訪問体制の充実に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防相談員を置き（平成29年度まで）、電話、来庁、訪問での精神保健相談体制の強化を図った。</li> <li>・担当保健師を中心に、随時相談を受け付けており、必要に応じ訪問等により状況確認などを行っている。</li> </ul>	保健師が、研修を受けスキルアップしながら、担当保健師不在時も相談を受けることができるよう、相談・訪問体制の充実に取り組んでいく。	健康推進係
3	○受診にかかる支援体制や、かかりつけ医と精神科医との連携体制を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健相談を年5回開催し、精神科医に直接相談できる場を設け、受診に係る支援を年7件程度行っている。</li> <li>・必要に応じ受診の確認や同行等を行い、未受診や受診漏れの無いよう支援している。</li> </ul>	引き続き、精神保健相談の実施や受診に係る支援を行っていく。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
⑥（自殺予防）（計画書P26）				
1	<p>○うつ病を始めとする精神疾患を原因とする自殺が9割を占めると言われていることから、精神疾患を早期に発見し、適切な治療や支援に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民健康講座での講話を年2回程度実施した。</li> <li>・自殺予防週間（9月中旬）に合わせ、自殺予防啓発キャンペーンを実施し、市内スーパー等4か所で啓発グッズ等を配布した。</li> <li>・平成29年度から、市まちづくり出前講座のメニューにゲートキーパー養成講座のメニュー（いのちの門番「ゲートキーパー」ミニ講座）を追加した。</li> <li>・ゲートキーパー養成研修を年2回程度開催した。</li> <li>・うつスクリーニングを実施（40、45、50、55、60、64歳及び妊婦）し、2次スクリーニング該当者へ訪問を行い、必要に応じ治療や支援につなげている。</li> </ul>	<p>引き続き、事業を行い早期発見と治療や支援につなげるよう努める。</p>	健康推進係
2	<p>○自殺予防についての正しい知識の普及と相談窓口等の体制整備を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防週間に合わせ、街頭キャンペーンを行い、電話相談窓口の案内の入った啓発グッズを配布した。併せて、市役所で窓口対応する市職員は啓発用Tシャツを着用し、市民にPRした。</li> <li>・電話、来庁、訪問による相談には随時対応している。市役所以外でも相談できるよう、電話相談窓口のリーフレットを配布した。</li> <li>・平成29年度に「いのち支えあう八幡平市自殺対策計画」を策定し、関係者へ計画書を配付した。また、健康増進計画、食育推進計画と併せた概要版を作成し、全戸配布を行い、計画の内容と相談窓口についての周知を図った。</li> </ul>	<p>今後も自殺予防週間に合わせ、キャンペーン活動を行うほか、市のイベント等の際に啓発活動を行う。</p>	健康推進係
3	<p>○自死遺族や職域への情報提供やアプローチを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自死遺族等への精神保健支援に関する情報提供として、市民課に依頼し、死亡届出時にリーフレットを配付している。</li> <li>・市役所職員を対象としたゲートキーパー養成講座を実施した。</li> </ul>	<p>引き続き、自死遺族等への精神保健支援に関する情報提供として、リーフレットを配付する。</p>	健康推進係



	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、 係等
4	○うつスクリーニングによる早期発見とゲートキーパーの養成により人材育成に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うつスクリーニングを実施（40、45、50、55、60、64歳及び産婦）し、2次スクリーニング該当者へ訪問を行い、必要に応じ治療や支援へつなげている。</li> <li>・ゲートキーパー養成講座を年2回程度開催した。</li> </ul>	引き続き、事業を実施していく。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(2) 認知症に対する取組（計画書P27～29）				
1	○地域包括支援センターやランチ等の相談窓口の周知に取り組みます。また、相談支援活動を通じて、医療・介護・保健・福祉・権利擁護などの関係機関及び地域住民が連携して支える体制を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報誌への掲載、周知用チラシの回覧・配布等により、相談窓口の周知に努めた。</li> <li>・各地区民生児童委員協議会定例会等に参加し、民生委員等、地域の関係者と連携し、早期発見・早期対応のための情報共有を図っている。</li> <li>・平成29年度から、認知症初期集中支援チームを設置（東八幡平病院へ委託）し、対象者の自宅訪問や認知症の詳細評価、チーム内検討を行い、医療サービスや介護サービスに繋がったほか、認知症地域支援推進員（1人）を健康福祉課に配置し、認知症に関する知識の普及啓発を行った。</li> </ul>	今後も、継続して体制強化に取り組んでいく。	包括支援センター係
2	○社会福祉協議会等と協力して、地域住民参加型の認知症高齢者の見守り・支えあい体制づくりの推進に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から、ひとり歩き認知症高齢者への声かけ模擬訓練を実施している。</li> </ul>	全ての地区で開催できるように、地域振興協議会等と協議を進め、地域で見守りを行う体制づくりに努めていく。	包括支援センター係
3	○認知症高齢者を介護している家族の精神的負担を軽減するため、研修会や集いの開催を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等を対象とした認知症講演会を年1回開催した。</li> <li>・包括支援センターランチと協力して「認知症カフェ」を市内4か所で開催した。</li> </ul>	平成30年度からは、包括支援センターランチ単位で「認知症カフェ」を開催し、集いの場づくり及び正しい知識の普及の場としていく。	包括支援センター係
4	○いきいきふれあいサロンの活動の中で、認知症予防を含めた健康づくりの普及と高齢者活動の推進に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市社会福祉協議会の担当者及び看護職員が、各サロンを巡回し、健康相談、運動指導を行っている。</li> </ul>	今後も継続して取り組み、活動の推進に努めていくとともに、地区老人クラブ等においても、市健康福祉課の体操指導などにより介護予防活動の推進に努める。	包括支援センター係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、 係等
5	○認知症サポーター養成講座等を通じて、認知症を正しく理解し誤解や偏見をなくすことで、地域全体で認知症高齢者やその家族を見守り、支援する体制づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の児童生徒、企業の職員、地域住民を対象に、認知症サポーター養成講座を年6回程度開催した。</li> <li>・平成29年度から、ひとり歩き認知症高齢者への声かけ模擬訓練を実施している。</li> </ul>	今後も継続して取り組み、地域で見守りを行う体制づくりを進めていく。	包 括 支 援 セ ン タ ー 係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(3) 周産期・小児医療の取組（計画書P29～30）				
① 周産期医療（計画書P29）				
1	○岩手県周産期医療情報ネットワークを活用しながら、医療機関と連携して妊産婦の健康をサポートします。	・岩手県周産期医療情報ネットワーク「いーはとーぶ」を利用し、随時、医療機関（産科）との情報連携を行っている。	今後も、岩手県周産期医療情報ネットワーク「いーはとーぶ」を利用し、随時、医療機関との情報連携を行っていく。	健康推進係
2	○安心して出産できる環境づくりのため、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士等による健康教育や相談事業に取り組みます。	・「もうすぐパパママ教室」（保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士等による講話や実習及び相談）を開催している。 ・母子手帳交付時及び電話、来庁による相談に随時対応している。	今後も事業を実施し、講話や実習及び相談を行うとともに、母子手帳交付時及び電話、来庁による相談に随時対応していく。	健康推進係
② 小児医療（計画書P29）				
1	○小児科医の確保対策を進め医師の負担軽減を図ります。	・岩手県国保連市町村医師養成事業負担金を支出しており、それによる養成医師を確保すべく、岩手県国保連へ要請している。現在、西根病院に小児科医として在籍している医師は、国保連を通じて平成28年度から勤務している。 ・現在、市内に常勤する小児科医は、西根病院、東八幡平病院、開業医に各1名ずつの計3名である。 ・市医師養成修学資金貸付事業による医師の養成を行っている。また、将来的に市の医師養成を希望する者を確保するため、事業のPRを行っている。	小児科医を確保するため、岩手県国民健康保険団体連合会への養成医師の配置要望や岩手医科大学医局への医師派遣要請を西根病院と連携して行っていく。 また、引き続き、市医師養成修学資金貸付事業による医師の養成及び当該事業のPRを行っていく。	健康推進係、西根病院
2	○夜間の急変時に保護者の不安を解消するための窓口である「こども救急電話相談」の周知を行います。	・「岩手県小児救急医療電話相談事業」を県で行っており、県ホームページ、岩手県医師会ホームページに掲載されている。	出生届出時に配付するパンフレット類にチラシも同封し、周知を図っていく。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(4) 救急医療の取組と医療体制（計画書P30～32）				
1	○救急指定病院である西根病院と東八幡平病院が中心となって救急医療を担う必要があり、休日・夜間に診療できる内容等を周知し利便性を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日救急当番医及び休日救急当番薬局について、市広報誌や市ホームページに掲載し周知している。</li> <li>・小児救急医療機関については、盛岡保健医療圏内で小児救急入院受け入れ当番病院を設定。市広報誌に掲載している。</li> <li>・夜間救急病院については、盛岡市夜間急患診療所で受入。市広報誌に掲載している。</li> </ul>	引き続き、市広報誌への掲載を中心に、休日・夜間に診療できる病院の周知を図る。	健康推進係
2	○休祭日の当番医体制の維持のため、医師の負担を考慮した無理のない当番医体制の構築と支援策の検討を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、市内医療機関との連絡会（学校保健・児童福祉・地域保健事業打ち合わせ会）を毎年2月に行い、当該年度の健診、予防接種、休日救急当番医の実施状況について報告を行い、翌年度の実施計画については協議し、調整した上で決定している。</li> </ul>	今後とも、無理のない市休日救急当番医制の維持に努めるよう協議、調整しながら行っていく。	健康推進係
3	○緊急通報装置や緊急連絡カードの普及啓発を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急通報装置については「高齢者生活援助サービス」のチラシを作成し、毎年4月に全戸回覧することにより周知を図っている。</li> <li>・緊急連絡カードは、市社会福祉協議会が作成し、民生委員と市で連携してカード登録の推進を行っている。</li> </ul> <p>➤策定時との比較</p> <p>緊急通報装置貸与数（H25）110➡（H30）73</p> <p>緊急連絡カード配備数（H24）584➡（H29）653</p>	今後とも、チラシ等を活用し周知を行い、市社会福祉協議会と連携して推進していく。	高齢福祉係
4	○救急搬送の理解と協力を得るため、広報はちまんたいでの市民に対する周知や、救命講習時・各種集会等の場において地域住民への周知と協力要請を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車を呼ぶ時の電話の掛け方や利用についての注意事項について、市ホームページに掲載している。</li> </ul>	引き続き、市ホームページへの掲載を中心に、救急搬送への理解と協力について周知を図る。	消防防災安全係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(5) へき地（医師過少地域）医療の取組（計画書P32～33）				
1	○医師・看護師体制の強化と、市内医療機関との連携強化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安代診療所、田山診療所ともに、それぞれ医師1名、看護師2名体制で、平日の外来診療及び特養嘱託医業務を行っている。</li> <li>・市内医療機関との連携については、毎年2月に、「学校保健・児童福祉・地域保健事業打ち合わせ会」を行っているほか、随時対応している。</li> </ul>	介護業務への需要拡大など現状以上のサービスへの対応については、体制の検討に努める。	安代診療所、田山診療所、
2	○特養・介護サービス業務と診療所業務との分担化、介護サービスにおける訪問看護の強化等、地域にあった対応策を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年8月から東八幡平病院で訪問看護ステーションを再開した。</li> </ul>	引き続き、関係者間の連携強化に努めながら、地域に合った対応策を検討していく。	センタ 係 ！ 支 援
3	○西根病院や東八幡平病院との連携により、入院の受入体制を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院の受け入れに係る医療機関間の連携について、診療情報提供書や看護サマリー等により、地域医療連携室を中心に行っている。</li> <li>・在宅高齢者等についても、介護支援専門員からの情報提供書により行っている。</li> </ul>	情報確認項目等を随時見直し、受け入れ体制の強化を図っていく。	東 西 八 幡 平 病 院
4	○地域の実状に応じた救急搬送体制の検討や、高速道路へのスマートICの設置を要望していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路へのスマートICの設置については、これまで市で検討しており、実現に向けて進めているところである。</li> </ul>	スマートICの設置については可能性調査を実施しており、関係機関と協議、検討していく予定である。	健 康 推 進 係 、 土 木 係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
5	○通院に必要な交通利便性の確保について検討を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市コミュニティバスは、路線や運行時刻について、医療機関の受診に利用しやすいよう考慮している。</li> <li>・地域内幹線交通（大更地区と田山地区を結ぶコミュニティバスの運行）を実施している。</li> <li>・JR花輪線については、毎年、JR東日本盛岡支社へ増便を要望している。</li> </ul>	<p>市立病院が大更駅東側に隣接して平成32年度中に開業することにより、受診のために大更駅で乗降する乗客の増加が見込まれるため、JR花輪線の増便について、さらに要望していく。</p> <p>また、コミュニティバスについても市立病院の開業に合わせ、路線及び運行時刻を受診しやすいものとなるよう検討していく。</p>	地域振興課 地域振興係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(6) 災害医療の取組と医療体制（計画書P33～34）				
1	○地域防災計画に基づき、限られた医療資源で最大の効果をあげるため、市内医療機関及び岩手県で指定する災害拠点病院との連携と災害医療の提供体制の構築を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡圏域での地域災害拠点病院は県立中央病院であり、市の地域災害医療コーディネーターは西根病院医師（主担当）のほか、市外の医師1名である。岩手県保健医療計画にも災害時における医療体制について記載されており、それに基づいた情報伝達訓練が年1回行われ、健康推進係で対応している。</li> <li>・災害時に病院機能を維持した上で、被災患者等の診療体制を確立するための事業継続計画（BCP）の策定について、西根病院は平成29年度に策定し、東八幡平病院では策定の取り組みを進めているところである。</li> </ul>	市で起こる災害を想定した「地域災害医療・福祉支援ネットワーク会議」の設置について、今後、要綱を定めるための検討を進めていく。	健康推進係
2	○市・医療機関・関係機関や団体等による体制整備と情報共有が必要であり、有事の際の迅速な対応を期するため訓練等に積極的に参加します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回の情報伝達訓練への参加のほか、災害保健医療に係る研修会（災害保健医療従事者研修、災害医療コーディネーター養成研修）へ参加し、対応について学んでいる。</li> </ul>	有事の際に対応できるよう、今後も訓練や研修会等に積極的に参加する。	健康推進係
3	○緊急連絡網の整備による初動期における情報伝達体制の確立とライフラインの維持、水・食料・医薬品等の確保を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県保健医療計画（2018-2023）によると、「広域災害救急医療情報システム（EMIS）」が災害拠点病院など県の医療施設、消防署、保健所等に導入されている。それにより、医療施設の被災状況、患者の受入状況等が把握できる。</li> <li>・災害拠点病院には衛星電話が整備されているため、有線通信途絶の場合は市の衛星携帯電話での通信が可能である。</li> <li>・ライフライン、水、食料、医薬品等の確保については、八幡平市地域防災計画に基づいて実施することとしている。</li> </ul>	有線通信途絶の場合の市と市内医療機関との情報伝達方法は、現時点では伝令のみである。	安全健康課推進係、防災係
4	○障がいや特殊事情のある避難者の受け入れ先について、老人福祉施設等との連携により、受入体制づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市避難行動要支援者避難支援計画により、避難行動要支援者名簿を作成し、民生委員等に情報提供している。</li> <li>・市内の13施設と福祉避難所の協定を締結し、一般避難所で安定した避難生活を送ることが困難な要配慮者を移送することとしている。</li> </ul>	避難行動要支援者個別計画については、策定に向け検討していく。	福祉地域福祉課



	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、 係等
(7) 在宅医療・地域リハビリテーションの取組（計画書P34～35）				
① 在宅医療（計画書P34）				
1	○住み慣れた地域での生活の継続を目指すため、医療機関・地域包括支援センター・介護保険サービス事業所が連携し、在宅療養患者の状態や生活の場に応じた支援体制を構築します。	・会議・研修会等（在宅介護・認知症講演会）を年1回実施し、関係機関が連携する支援体制の構築に努めた。	引き続き、連携を強化し、関係者間で顔の見える関係づくりに取り組むよう努める。	包括支援センター係
2	○終末期の看取り体制づくりのため、病院と介護老人福祉施設との連携の強化に取り組みます。	・在宅介護及び看取りの経験者を講師に迎え、「在宅介護・認知症講演会」を年1回開催した。 ・看取りの体制づくりについて、関係機関で検討や取り組みを始めた。	今後とも連携強化を推進しながら、各々が自分の望む終末期の在り方を考える機会を創出するよう努める。	包括支援センター係
② 地域リハビリテーション（計画書P35）				
1	○生活機能が低下した高齢者や障がいを持つ方々の在宅復帰や社会参加を目指すため、医療・介護・福祉の関係者が連携し、それぞれの生活障害に応じた地域リハビリテーション支援体制の推進を図ります。	・介護支援専門員や介護事業所職員などを対象とした研修会（生活環境と身体機能を最大限に生かした自立生活の支援）を開催した。	引き続き、連携を強化し、関係者間で顔の見える関係づくりに取り組むよう努める。	係、包括支援センター、地域福祉課、障がい福祉係
2	○誰でも安心して住むことができるユニバーサルデザインに配慮した街づくりを推進します。	・ひとにやさしまちづくりの視点に基づいて、ユニバーサルデザインに配慮した公共施設整備を実施した。 ・道路施設整備について、セミフラット歩道の設置を推進した。 ・不特定多数が利用する公共施設整備（北森駅・大更駅自由通路及び市庁舎）について、案内表示の多言語化、点字等誘導のバリアフリー化を行った。	さらにユニバーサルデザインに配慮した街づくりを推進していく。	建設課都市計画係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
(8) 歯科医療の取組（計画書P36～37）				
1	○各種歯科コンクールや啓蒙活動を積極的に実施することにより、各歯科健診の受診率向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8020運動達成者表彰（80歳で残存歯が20人以上の人の表彰）、3歳児むし歯のない親と子の表彰、歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール入賞者表彰（県歯科医師会、岩手八幡平歯科医師会表彰）を実施し、市広報誌に掲載したほか、動画（八幡平F A N）にアップし、歯の健康についてのP Rを行った。</li> <li>▶ 策定時との比較 年1回以上歯科健診を受けている人の割合（H23）25.0%→（H29）25.7%</li> <li>▶ 市健康づくり21プラン目標項目 「年1回以上歯科健診を受けている人の割合の増加」（現状値H29）25.7%→（目標値H35）35.0%以上</li> </ul>	岩手八幡平歯科医師会の協力のもと、引き続き、コンクール等の事業を実施し、歯科健診の受診率向上につなげていく。	健康推進係
2	○歯周病と全身疾患の関連性をはじめとした口腔と全身の関わりを周知します。	・ 毎年度、成人歯科健診（対象者：20、30、40、50、60、70歳）を行っており、その通知文書へ歯周病に関するチラシを同封し、口腔と全身の健康との関わりを周知している。	引き続き、口腔と全身の健康との関わりについてチラシ等を活用した周知を行っていく。	健康推進係
3	○医師と歯科医師の連携による、がん・脳卒中患者の口腔ケア及び口腔管理を行うとともに、各医療従事者への口腔ケア及び口腔管理の指導に取り組みます。	・ 現状では、会議における情報交換に留まっている。	引き続き、会議等で情報交換を深めていく。	健康推進係
4	○岩手県口腔の健康づくり推進条例に基づき、本市の地域特性を考慮した取り組みを推進するとともに、訪問歯科診療の周知を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年3月に岩手県口腔の健康づくり推進条例が制定され、市町村は、県、歯科医師等の関係者と連携し、施策の制定・実施するよう努めることとされている。</li> <li>・ 毎年6月に岩手八幡平歯科医師会会長及び市内歯科医師と市関係課とで八幡平市歯科検討会を行い、歯科保健事業について、前年度の実施状況の報告及び当該年度の実施計画の確認と調整を行っている。</li> </ul>	今後も八幡平市歯科検討会を開催し、歯科医師と行政とが連携して歯科保健事業を行っていく。	健康推進係

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
5	<p>○う歯や歯周病を予防するために、出産前や乳幼児期からの指導や予防活動を推進します。</p>	<p>・平成29年度から出前講座メニューに子どもの歯科の講座（おじいちゃん、おばあちゃん出番です！～孫の歯を立派に育てましょう～）を加えた。</p> <p>・両親学級（もうすぐパパママ教室）で歯科衛生士の講話を実施した。</p> <p>➤策定時との比較</p> <p>むし歯のない子どもの割合（H23）1歳6か月児96.1%、3歳児74.3%、12歳児78.9%➡（H28）1歳6か月児94.2%、3歳児79.6%、12歳児74.2%</p> <p>12歳児における1人平均むし歯の本数（H23）0.44歯➡（H28）0.51歯</p> <p>➤市健康づくり21プラン目標項目</p> <p>「むし歯のない子どもの割合の増加」（現状値H28）1歳6か月児94.2%、3歳児79.6%、12歳児74.2%➡（目標値H35）1歳6か月児98.0%以上、3歳児85.0%以上、12歳児80.0%以上</p> <p>「12歳児における1人平均むし歯の本数の減少」（現状値H28）0.51歯➡（目標値H35）0.4歯以下</p>	<p>引き続き、事業を実施し、また、乳幼児健診時の指導を強化しながら予防活動に取り組んでいく。</p>	<p>健康推進係</p>

	取り組みの方向性	進捗状況（H26～30の実施状況）	課題、今後の取り組み予定	担当課、係等
<b>5 地域医療を担う医師・看護師の確保</b>				
地域医療を担う医師・看護師の確保（計画書P37）				
1	○岩手県国民健康保険団体連合会の養成医師の配置要望や岩手医科大学医局への医師派遣要請を行うとともに、医師養成事業や看護師養成事業で養成した医師・看護師の定着を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県国民健康保険団体連合会への養成医師の配置要望及び岩手医科大学医局及び県立中央病院への医師派遣要請については、毎年、西根病院と連携して行っている。</li> <li>・本市の医師養成修学資金貸付事業や看護師養成修学資金貸付事業による医師・看護師養成中の者については、毎年、面談や市内医療機関についての情報提供等を行い、市内に定着するよう努めている。</li> </ul>	今後とも医師配置要望、医師派遣要請を行い、医師確保に努めるとともに、医師養成修学資金貸付事業、看護師養成修学資金貸付事業についてPRしていく。	健康推進係
2	○市医師養成事業・看護師養成事業を今後も進め、将来を見据えた医師・看護師の確保対策を実施するとともに、働きがいのある地域環境の整備を推進します。	・将来的に市の医師養成、看護師養成を希望する者を確保するために、市ホームページ掲載、チラシ配布（市内中学3年生全員、県内及び近隣の医療系学校）を行っている。	今後とも医師養成修学資金貸付事業、看護師養成修学資金貸付事業についてPRを行っていく。	健康推進係
3	○隣接する他県も含めた地域の医療資源を効果的に活用しながら、新たな開業医の確保対策と、医師が働きやすい環境整備や支援体制の構築に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田山地区と隣接する秋田県鹿角市の医師会及び薬剤師会の協力のもと、鹿角市の休日当番医及び休日当番薬局について市広報誌に掲載している。</li> <li>・西根バイパスや道路整備を計画的に行い、市内に通勤する医師の負担を軽減している。</li> </ul>	医師の通勤に係る負担を軽減するために、平成32年度に市立病院の医師住宅の整備を予定している。	健康推進係 根病院係 ・西